

江戸 ノスタルジア

吉例浮世絵大公開!



明治時代に描かれたなつかしの「江戸」

月岡芳年「風俗三十二相 うるさう 寛政年間 処女之風俗」明治21年(1888)／楊洲周延「千代田大奥御花見」部分 明治27年(1894)／いずれも当館蔵



Edo Nostalgia

2017年3月11日[土]—4月9日[日]

 町田市立国際版画美術館

◎開館時間—平日10:00—17:00(入場は16:30まで) 土日祝10:00—17:30(入場は17:00まで)

◎休館日—3月13日[月]、21日[火]、27日[月]、4月3日[月] ◎観覧料—一般:600(500)円/大高生・65歳以上:300(200)円/中学生以下:無料

*()内は20名以上の団体料金 *展覧会初日3/11日[土]は入場無料

*身体障がい者手帳、愛の手帳(療育手帳)または精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は半額



吉例浮世絵大公開!

江戸ノスタルジア



楊洲周延 / 「千代田大奥御花見」 / 明治27年(1894) / 当館蔵



楊洲周延 / 「温故東の花 旧失火之際奥方御立退之図」 / 明治22年(1889) / 当館蔵



豊原国周 / 「葵神松の裏苑 第十四帙 家茂公御配偶和宮」 / 明治12年(1879) / 当館蔵



楊洲周延 / 「江戸砂子年中行事 セツ之図」 / 明治18年(1885) / 当館蔵



水野年方 / 「三十六佳撰 卯月 延享頃婦人」 / 明治27年(1894) / 当館蔵

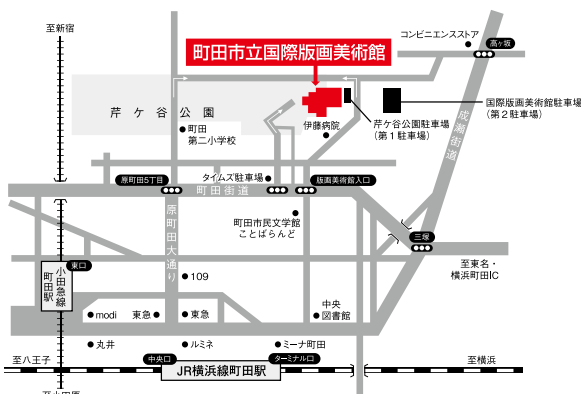
明治の幕開けにより、新しい西洋の文化が入り込んだ「江戸」は、徐々にその姿を「東京」に変えていきました。人びとは文明開化の波を新鮮に感じる一方で、旧幕府時代を批判的に捉えた新政府の態度や社会の変化には戸惑いも感じていたようです。明治22年(1889)には旧幕臣による「江戸開府三百年祭」が開催され、江戸への郷愁も高まっていました。

こうした人びとの心情に寄り添うように、明治22年前後の浮世絵には「江戸」を題材にした例が多くみられます。自身も旧幕府軍として戦った経験のある楊洲周延は、代表作「千代田の大奥」などで、かつては描くことのできなかった大奥や江戸城の様子を描いています。明治を代表する浮世絵師、月岡芳年は、『風俗三十二相』シリーズにおいて、江戸美人の姿に往時への追憶を込めました。

1868年の明治維新から、もうすぐ150年が経とうとしています。本展では、「明治時代に描かれた江戸」という視点から、江戸時代について、また時代の変わり目に生きた明治の人びとについて思いを巡らします。

関連イベント

- 館長によるスペシャルトーク
3月26日(日)
- 学芸員によるギャラリートーク
3月12日(日)、4月8日(土)
※各日14時から45分程度
- 観覧券をご用意のうえ、2階企画展示室入口にお集まりください。
- 美術館で語り合おうトークフリーデー
会期中の水曜日・土曜日
「鑑賞のための静けさ」よりも作品をめぐる会話を楽しんでいたこうという試みです。小さなお子さま連れの方も気兼ねせずにぜひご入場ください。



〒194-0013
東京都町田市原町田4-28-1
電話 042-726-7771・0860
<http://hanga-museum.jp/>
問い合わせ 町田市イベントダイヤル
電話 042-724-5656

「同時開催」ミニ企画展
「シリーズ現代の作家 追悼・木村利三郎」
1月5日(土)〜4月9日(日) 入場無料

小田急線・JR横浜線町田駅より徒歩15分